

ニュータウンにおけるモビリティハブ展開人材育成事業

応募様式A

株式会社AMANE

事業の基礎情報

事業実施地域	【1.泉北ニュータウンでのモデル化】堺市泉北ニュータウン 【2.全国への横展開】大阪、東京等の大都市圏の郊外を中心
人材育成の対象	ニュータウン内鉄道駅や路線バス等の公共交通の運行を担う鉄道事業者、ニュータウンの開発事業者、ニュータウンの運営管理に携わる組織、ニュータウンが存在する自治体の職員等
人材育成の手法	【1.泉北ニュータウンでのモデル化】ワークショップ 【2.全国への横展開】セミナー
人材育成の内容	ニュータウンにおけるモビリティハブの構築手法を習得することで、全国のニュータウンにおいてモビリティハブを横展開する人材を育成する。
想定育成人数	100人

取組の概要

(現状の地域課題と事業目的)

日本全国では、ニュータウンが全国で2000箇所ほど存在するが、いずれも坂道が多い土地であり、住民の高齢化が進み、公共交通は衰退し、ニュータウン内の商業施設が衰退することで買い物難民が増加する等、類似した都市構造であるがゆえの類似した課題を抱えている。

そこで、弊社では、上記一般的なニュータウンにおいて、多様な交通モードと連携し生活サービスにもアクセス可能なモビリティハブを構築することで、住民の移動・生活サービスの選択肢を多様化し、住民の生活利便性を向上させ、ニュータウンの公共交通の維持・活性化にも寄与したいと考えている。

本事業においては1.大阪府堺市の泉北ニュータウンをモデル地域としてモビリティハブを横展開するためのモデル化を実施し、2.全国(主に大阪・東京等の大都市圏の郊外を中心)のニュータウンの関係者にモビリティハブを横展開セミナーを実施することで、全国2000箇所のニュータウンにおいてモビリティハブを通してまちづくり・移動課題の解決が可能な人材を育成することを目的とする。

(事業の概要)

- ①ニュータウン内鉄道駅や路線バス等の公共交通の運行を担う鉄道事業者、ニュータウンの開発事業者、ニュータウンの運営管理に携わる組織、ニュータウンが存在する自治体の職員等
- ②ワークショップ/セミナー形式で
- ③ニュータウンにおいて、公共交通事業者・多様なモビリティサービス事業者・地域事業者が連携するモビリティハブの構築手法を通じて
- ④モビリティハブによって公共交通を維持・活性化し、住民の移動生活性を向上させる方法

取組の詳細

(事業により見込まれる効果)

モビリティハブを、ニュータウンの開発・運営に携わるステークホルダーが主導して自ら必要な場所に構築し、運営することが可能になる。それによって、

- ・ニュータウンの地域住民にとって、様々な交通モードの選択肢ができ、公共交通の利便性が向上することによる外出機会を創出する(アンケート等で外出率の向上が取得可能)。
- ・外出機会が増加することにより、既存公共交通を含めた多様な交通モードの利用が増加する。
- ・モビリティハブを通じて必要な生活サービスにアクセスできるようになることで、住民のQOLが向上する(アンケート等でQOLの向上が取得可能)。
- ・住民の買い物難民が減少する。

(事業実施手順・スケジュール)

	2024											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業A：オンデマンドバス AMANE			計画			実施	マニュアル作成					
事業B：モビリティハブ AMANE・自動車新聞社									企画		実施	

(補助事業実施後の予定)

【中期的】

- ・泉北ニュータウンでの参加者が伝道師となり、泉北ニュータウンにおけるモビリティハブの構築、運営方法を自組織内の他人材への展開できるよう、フォローアップを実施する。
- ・セミナーの参加者に対しては、モビリティハブ計画の進捗についてフォローアップを実施する。

【長期的】

- ・ニュータウンモデルだけでなく、地方都市や都心部におけるモデルも開発し、人材育成セミナーを実施する